

第32回 東京都壮年スローピッチソフトボール大会 競技要項

【1】試合

- ①本大会は、2020年度日本ソフトボール協会オフィシャルルールおよび一部特別ルールを適用する。
- ②競技場における特別ルールに関しては、試合前に当該球審より別途説明する。
- ③選手登録の変更は初日のみ認める。チーム1試合目の開始1時間前までに本部に提出すること（原紙+コピー2部）。
- ④打順表の記入と提出については、打順表（5枚1組）に必要事項（「ふりがな」を必ずつける）を記入し、本部に提出し、必ず本部確認印を受けること。
 - ・その試合に確実に出場可能な全員を記入すること（試合開始時の整列に間に合わない出場不確定選手は記入しない）。
 - ・本部確認印を受けた打順表は、第一試合開始30分前、以降は前の試合の3回終了時に当該競技場の審判員に提出し、コイントスを行う。
 - ※打順表は事前に配布するので、その用紙を使用すること。
- ⑤ベンチ入りできる人員は、登録された監督・コーチ・選手25名以内（プレイングマネージャー含む）・スコアラー・トレーナーに限る。スコアラー、トレーナーのベンチ入りは各1名とし、メンバー表の欄外に記入すること。
- ⑥打順表が提出されていても、試合開始時刻に選手が揃わない場合は棄権とみなす。
 - ※監督最終確認で突発的な事由と判断せざるを得ない申し出を受け、変更が認められた場合は除く。
- ⑦ベンチは、組合せ番号の若いチームが一塁側とする。
- ⑧フィールドイングは競技場に入ることを許された監督、コーチ、選手のみで行う。
 - フィールドイングは後攻チームより5分間とし、試合当日の1試合目のみとする。
- ⑨試合途中の雨により試合が継続できないと判断された場合は、ノーゲーム再試合とする。
 - 但し、3回終了を持って試合成立とし、それ以降、試合を継続できないと判断した場合は、その前の回の終了時の得点で勝敗を決する。
- ⑩試合は7回60分ゲームとし、55分を過ぎて新しいイニングに入らない。
- ⑪同点の場合は抽選により勝敗を決める。
 - 但し、決勝戦においては時間に達して同点の場合は、タイブレークにより試合を継続し、勝敗が決するまで継続する。

※コロナ対策については、別紙の「諸注意事項」を参照のこと。

【2】コールドゲーム

- コールドゲームは、3回15点差、4回10点差、5回以降7点差とする。
- ※決勝戦においては、得点差コールドゲームは適用しない。

【3】ユニフォーム・用具

- ・ユニフォーム（帽子・ストッキング・ソックス）は、同色・同意匠のものを採用すること。
- ・アンダーシャツについてもチーム内同色とする。半袖と長袖の違いは可。
- ・アームスリーブはアンダーシャツと同色とし、両腕に着用のこと（片腕だけの使用は認めない）。
- ・金属スパイク（セラミック含む）の使用は認めない。
- ・JSA検定マークのないバットは使用できない。
- ・打者・打者走者・次打者・コーチは、安全確保のためJSA検定マークが入った両耳当てのあるヘルメットを着用すること。
- ・捕手は、安全確保のためにJSA検定マークが入ったヘルメットを着用すること。捕手用マスクは、スロートガード付きでSGマークが入っているものを着用すること。また、ボディプロテクター、膝当て付きレガーズも着用すること。
- ・ロジン（滑り止め）は大会本部で準備したものを使用する。但し、チームで持参したものでも、事前に審判員が確認したものであれば使用を認める。

【4】日程の変更

- 雨天等による大会開催可能か否かの判断は当日朝6時までに行い、追って都ソ協HPにアップする。
- ・雨天等により中止の場合は順延とする。
 - ・試合日程の途中で中止になった場合は、大会本部から日程について別途指示するので、その指示に従うこと。
 - ・グラウンドが使用可能な状態であれば多少の雨でも試合を強行するので、自己判断しないこと。

【5】身分証明

- 選手としての出場資格は、1980年（昭和55年）4月1日以前に生まれた、東京都在住・在勤の方。
- ※各自、身分を証明する運転免許証または健康保険証（写しでも可）を持参し、係員の求めがあった場合は提示すること。これを拒否したときは、大会への参加を認めない。

【6】雨天時の連絡先（午前6時以降）

- 来栖：090-1735-1614
松本：090-3522-6910